

睡眠に関わる標榜について

— 声 明 —

今般、睡眠に関わる標榜についてマスコミ報道があったところであるが、日本精神科病院協会は、これに反対する。

本来、国民への情報提供は標榜を増やすのではなく、外来機能報告等で今後示されていくものと承知している。

睡眠に関わる疾病は全身もしくは脳に起因するもので、精神科、内科、耳鼻科、小児科といった標榜科をまず受診して診療の後、必要があれば、睡眠の専門家に紹介されるべきである。

標榜科は、すでに乱立傾向にあり、さらに標榜科を増やすことに対しては、日本精神科病院協会は断固反対するものである。

令和6年6月14日

公益社団法人日本精神科病院協会

会 長 山 崎 學